



令和5（2023）年9月15日

各 位

公益財団法人西宮市文化振興財団

西宮市文化振興財団とミ・ベモル サクソフォンアンサンブルが包括連携協定を締結

～不登校支援プログラムや市内各所で気軽に楽しめる出張コンサートに取り組みます～

この度、公益財団法人西宮市文化振興財団（理事長・太田聖子 以下：西宮市文化振興財団）と一般社団法人ミ・ベモルサクソフォンアンサンブル（代表理事・前田昌宏 以下：ミ・ベモル）は、令和5（2023）年9月8日、西宮市における地域の一層の文化芸術振興に資するため包括連携協定を締結いたしました。

本協定は、双方初の試みです。また、本協定のように公立ホールがプロの実演芸術団体と協定を締結したことも、県下では先進事例です。

西宮市文化振興財団は、昭和63（1988）年の設立以来、西宮市の文化施策を担う団体として文化芸術の振興に取り組んで参りました。今回、世界最高峰のサクソフォンアンサンブルと称されるプロフェッショナル楽団であるミ・ベモルをパートナーとして迎え、新たに市内在住の希望する全ての不登校児童生徒を招待するアミティ・ベイコムホールでのスペシャルコンサートや、様々な理由でアミティ・ベイコムホールに来られない方々が地域交流・福祉施設等の身近な場所で気軽に質の高い音楽を楽しめる出張コンサート等を実施し、西宮の文化芸術振興に努めて参ります。



左から 白石尚美（テナーサクソフォン首席奏者） 岩田瑞和子（コンサートミストレス） 前田昌宏（ミ・ベモルサクソフォンアンサンブル代表理事）
太田聖子（西宮文化振興財団理事長） 須藤理一郎（西宮文化振興財団事務局長） 土居和子（西宮文化振興財団事業課長）

◆コメント

太田聖子（公益財団法人西宮市文化振興財団理事長）

この度、世界最高峰と称されるミ・ベモル サクソフォンアンサンブルと包括連携協定を締結しましたこととても嬉しく、また心強く思っております。西宮市が文教住宅都市宣言から60周年を迎える記念すべき年に本協定を締結し、さらに2年後の市制100周年に向けて、ミ・ベモルのみなさまとともに西宮、ひいては阪神間に質の高い音楽を気軽にお楽しみいただける機会をより充実させて参ります。どうぞご期待ください。



左 前田昌宏（ミ・ベモルサクソフォンアンサンブル代表理事）
右 太田聖子（西宮文化振興財団理事長）

前田昌宏（ミ・ベモル サクソフォンアンサンブル代表）

この度、文化の薫り高い街・西宮の文化振興の中心的な役割を担う西宮市文化振興財団と包括連携協定を締結しましたこと誇らしい思いです。これまで大阪府を中心に公演を開催しておりましたが、これを機に、西宮また兵庫県のみなさまにわたしたちの音楽をお届けできることに、胸を高鳴らせています。6種類のサクソフォンだけによるアンサンブルで、ジャンルにとらわれず音楽そのものの魅力をお伝えできればと思っています。西宮の様々な場所でみなさまにお会いできることをメンバー一同楽しみにしております。

◆包括連携協定

本協定は、西宮市文化振興財団及びミ・ベモル サクソフォンアンサンブルが、緊密に相互連携し、それぞれが有する人的・物的資源を有効に活用して、西宮市における地域の一層の文化芸術振興を図ることを目的とした協定です。

目的に向けての取り組みとして、（1）アミティ・ベイコムホールの活用に関する事、（2）市内公共施設や商業施設での鑑賞機会の提供に関する事、（3）青少年の育成に関する事、（4）相互の情報発信に関する事、（5）その他、地域の一層の文化芸術振興に関する事、を緊密に連携して実施いたします。

本協定の有効期間は2024（令和6）年3月31日までとし、本協定の有効期間満了する日の1か月前までに、いずれかが書面により特段の申し出を行わない時は、有効期限が満了する日の翌日から1年間本協定は更新されます。なお、本協定の最長有効期間は、2026（令和8）年3月31日までとしています。ただし、双方の合意の上で有効期間の延長を妨げるものではありません。

補足：最長有効期限は西宮市文化振興財団の西宮市民会館アミティ・ベイコムホール指定管理者期間と同じ。

◆包括連携協定締結に伴う事業(予定)

令和5(2023)年度 7事業10公演(予定)

	日付	時間	場所	公演名
新規	10月8日(日)	14:30~/16:30~ 各30分公演	阪急西宮ガーデンズ 本館4階スカイガーデン	第30回野外アートフェスティバル 野外ステージパフォーマンス
新規	11月28日(火)	13:00~/14:30~ 各40分公演	ACTA 西宮東館2階中央 ひろば	ACTA 西宮 2023 クリスマスコンサート ※カルテット出演 ※アクタ西宮との共催
拡充	12月7日(木)	11:00~ 60分公演	西宮市民会館アミティ・ バイコムホール	不登校支援プログラム ミ・ベモル サクソ フォンアンサンブルスペシャルコンサート ※西宮市教育委員会との共催
新規	1月14日(日)	調整中 1回公演予定	鳴尾老人福祉センター	地域交流施設アウトリーチプログラム ミ・ベモル サクソフォンカルテットコンサ ート
継続	1月19日(金)	12:20~ 30分公演	西宮市民会館アミティ・ バイコムホール	アミティ・ランチタイムコンサート
新規	2月4日(日)	調整中 2回公演予定	西宮市民会館アミティ・ バイコムホール	ミ・ベモル サクソフォンアンサンブルコン サート for 吹奏楽部
継続	2月17日(土)	調整中 1回公演予定	西宮市民会館アミティ・ バイコムホール	ミ・ベモル サクソフォンポピュラーコンサ ート

○新規：包括連携協定締結により新たに実施する事業 ○拡充：包括連携協定締結によりこれまでより内容を拡充して実施する事業 ○継続：昨年度より継続して実施する事業

一部事業は日程の変更等が発生する場合がございます。あらかじめご了承ください。

令和6(2024)年度以降も、西宮の各所でミ・ベモルによる演奏をお届けできるよう企画いたします。



↑2022.9.17 公演写真 於アミティ・バイコムホール→



本件に関するお問い合わせ
 公益財団法人西宮市文化振興財団事業課
 〒662-0918 西宮市六湛寺町10-11
 電話：0798-33-3146
 メール：amity@nishi.or.jp

ミ・ベモル サクソフォンアンサンブル



「ミ・ベモル」とはフランス語で「ミのフラット」を意味しています。サクソフォンは移調楽器といわれ、アルトサクソやバリトンサクソで「ド」の音を演奏すれば実音で「ミのフラット」が鳴るように作られているところが、このアンサンブル名の由来です。ソプラノ、アルト、テナー、バリトン、バス、コントラバスの6種類のサクソフォンだけによるアンサンブルで、クラシックを中心にジャズやポップス、演歌に至るまで様々なジャンルの音楽をレパートリーにしています。

1989年に前田昌宏の呼びかけにより結成されて以来、定期演奏会をはじめ各地での依頼演奏、FMやBS放送への出演など幅広い活動を行い、豊かな音楽性、そして繊細かつダイナミックな演奏は数多くのファンを魅了してきました。更にその活動は遠く海外にも及び、香港・上海・タイ・マレーシアといったアジア諸国から、カーネギーホール（ニューヨーク）を含むアメリカ・カナダ、さらにフランス・イタリア・スペイン・スロヴェニアなど欧州まで、コンサートツアーを幾度となく重ねています。各地のホールや教会など大きな会場のほか、公園やぶどう畑でも演奏会を開き、身近で心のふれあいを通じた国際交流を果たしています。また、YouTubeにアップされた映像には延べ140万回を超えるアクセスがあり、世界中から絶賛のコメントが寄せられています。メンバーのうち5名は大学音楽学部で、また2名は高校音楽科でサクソフォンの専門教育を行っているほか、全員が音楽教室や講習会などを通じてその高度な音楽表現やアンサンブルテクニックを広めています。一方、前パリ音楽院教授ドゥファイエ氏や現同音楽院教授ドゥラングル氏を招聘してのリサイタルの主催、高校生との共演、講習会の開催など多方面にわたる文化活動、青少年の育成、生涯教育にも寄与しています。また、これまでの大小約100曲に及ぶミ・ベモルによる編曲・出版譜は、国内はもとより海外においてもその高い信頼性が評価され、名演奏家たちによる演奏会、フェスティバルに数多く用いられています。近年の主な活動として、創立25周年を迎えた2014年には、東京・大阪・名古屋での公演やベルギー・スウェーデンへの演奏旅行に加え、日本初となる「日本ラージサクソフォンアンサンブルサミット」をいずみホールにおいて主催しました。翌2015年にはストラスブール（フランス）で開催された世界サクソフォンコンGRESSでの演奏が絶賛されたほか、「100人によるサクソフォンオーケストラ」を中心となって組織し、各国から集まった奏者と共にその演奏会を成功させました。そして、2019年には創立30周年を記念して国内外で多数の事業を展開、ミ・ベモルが主導的な役割を果たし続けてきたこのジャンルに改めて世界的な関心が集まっています。

西宮では2021年よりポピュラーコンサート、西宮市教育支援センター〈あすなろ〉の児童生徒を対象にした出張コンサートやスペシャルコンサート、2022年よりアミティ・ランチタイムコンサートの開催に加え、西宮市文化振興財団による動画配信「おうちでアミティ」に映像を提供しています。また、2023年に西宮市文化振興財団と包括連携協定を締結し、ともに西宮のみなさまに音楽の魅力をお届けしています。